

ちゃんねる

平成28年度 第1号 2016/8/26
会員個々の研修に期待

太田南小学校 進藤正弘

夏休みも終わりますが、今年の夏休みは外の暑さを避け、エアコンの効いた室内でリオオリンピック観戦という会員の方も多かったのではないかと思います。過去最多のメダル獲得と言うこともあり、日本人選手の活躍は素晴らしいものでした。

さて、今年は教科研究大会の年なので、会員の皆様にとっては個々の研修を進めて頂く一年となっております。今後その成果を共有できれば幸いと思っております。もちろん夏季研修会にもたくさんの方々にお集まり頂き、有意義な時間を過ごすことができました。その内容についての報告は「ちゃんねる2号」に譲るとして、この夏私が取り組んだことについてご紹介します。



【①イラスト・マンガ作成ソフト「CLIP STUDIO PAINT」に挑戦】

パソコンで絵を描くには、高価なペンタブが必要かなと思っていたのですが、自分が持っているタブレットでもできそうだったのでダウンロード版を5千円で購入。これを使えばマンガ家さんが描くイラストのようにもできそうです(絵が上手ならの話です)。基本的には透明なシートを重ねながら描いていく感じです。(1)下書き(2)線書き(3)着色(4)背景(吹き出しも付けられます)…こんな順番で描きますが、不要なシートは取り外せます。重ねるシートの順番も自由に変えられます。ペンや筆の種類も色の数も豊富です。水彩や油絵の効果も表現できます。実に楽しい。

職場では、新しい機器の説明や学校施設の操作手順など、絵を使った方が分かりやすい時に、紙に描いたイラストをスキャナーで読み込んで使っていたのですが、これからはその必要もなさそうです。紙も絵の具ももういらないと感じた感じです。

【②ドローンを購入してみました】

ドローンの操作を、自分もできるだろうかと思ったのがきっかけです。価格はまちまちだったので、中学生の誕生日プレゼントぐらいの価格の物を購入(値段を言うと家族に怒られそうです)。はっきり言っておもちゃです。確かに飛ぶのですが、操作が難しい。右に行ったり左に行ったり…。練習を繰り返しているうちに、購入して2日目にモーターが1個焼き付き、こ・わ・れ・ま・し・た。ショックでした。しかし、調べてみると、換えのモーターや予備バッテリー等もあり、初心者には必需品のようでした。現在修理中。活用の方法は、もっと操作が上手になってから考えます。

以上、この夏の私の研修でした。会員の皆様の研修に期待しております。

研究部より

1. 研究主題

「豊かな人間性を育てるための視聴覚教材や教育機器の活用はどうあればよいか。」

授業において、広い意味での視聴覚教材や教育機器を効果的に活用することで、教科・領域のねらいの達成に役立てたり、児童・生徒に情報を活用する力を身につけさせたりすることをめざします。

例えば

- ・教師による活用：教師が授業の中で、何のために、どの部分で、どんな教材・教具を、どのように使うか。(含む教材教具プログラム等の開発)
 - ・児童・生徒による活用：児童・生徒自身が、どのような機器や教材を、どのように使って、課題解決に役立てるか。(含むタブレット PC の活用)
- …他にも、情報モラル教育、特別支援教育での活用等様々なジャンルが考えられます。

2. 今年度の取り組み

- ① 次年度の研究大会に向けて、文科省の「学びのイノベーション実践報告書」等を参考に、学習場面に応じた視聴覚教材や教育機器の活用のポイントを整理して、「授業参観の視点」に検討を加えていく。

- ② 活用事例の応募

日頃の授業実践から有意義だった活用事例応募します。授業で活用した HP や PDF ファイル/算数などで作成したパワーポイントファイル/ちょっと便利な●●の使い方/等々。レポートの形式は問いません。ごくシンプルに以下の<例>程度でもよろしいかと思います。(寄せていただいた事例は会の HP に掲載することでシェアできればと考えています。)

<例>

小学1年国語科「くちばし」 きつつきがくちばしで木に穴を掘って虫を食べる様子を見せるために、iPad を使用し youtube の動画をダウンロードして見せた。ワンポイントで活用することで、文章だけでは理解がむずかしかった子どもにイメージをもたせることができた。

<https://www.youtube.com/watch?v=fpDRCIRUNvo>

※「視聴覚」、「情報教育」、「ICT」など、類義語が多く存在していますが、本研究会としてどの言葉を使っていくのが適当なのか検討をしては?という意見があります。会員間でも話題にして下されば幸いです。

研修部より

1. 春の総会(第1回研修部門会議)で話し合われた内容について

話し合われた内容は以下の通りです。

(1) 研修部長、副部長の互選

(2) 今年度の研修の方向性について

昨年度は、自作教材を作ったり、教材の提示方法の工夫したり、機器の活用例を知ったりするなどの研修を行ってきました。今年度も、昨年度と同様に進めていくことを確認しました。

(3) 今年度夏季研修について

会員から要望の多い「タブレットの活用例」を研修の1つにすることを話し合いました。また最近話題になっているドローンで撮影された写真や動画。それを授業に活用できるのではないかという話題も出ました。

それを受けて以下のような夏季研修会の計画を立てました。

日時：平成28年8月1日(月) 13:30~15:30

場所：西明寺小学校 コンピュータ室

内容：ウィンドウズタブレットの活用 講師：ジャストシステム 保坂氏
ドローンで撮影した映像の活用方法について

広報部より

1. 視聴覚教育研究会会報「ちゃんねる」について

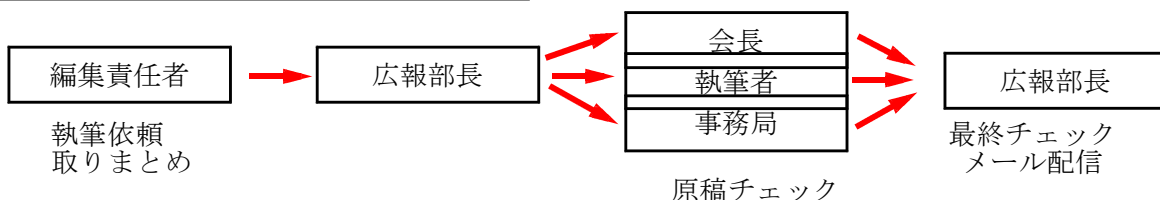
今年度は視聴覚研究大会がない年なので、会報発行は年3回とします。

ちゃんねる発行の計画

会報	時期	責任者 (執筆依頼・編集)	内容	執筆者
「ちゃんねる」 No.1	7月 月上旬	加藤 康二 津谷 朋美 篠塚 裕	会長の言葉 第1回各専門部の話し合いから	会長 各部門長
「ちゃんねる」 No.2	9月 月上旬	山本 剛 堀井 浩一	副会長の言葉 夏季研修会の報告	副会長 研修部門長
「ちゃんねる」 No.3	2月 月上旬	鈴木 茂 飯塚 悟 後藤 拓哉	副会長の言葉 平成28年度を振り返って 各専門部の活動報告	副会長 各専門部長

夏季研修会への参加申込の作成・配布は、研究会部門でお願いします。

会報「ちゃんねる」の送信までの流れ



2. 視聴覚研ホームページ更新について

2-1 責任者 進藤 正弘

2-2 制作担当 後藤 晃裕

2-3 内容

- ・会報「ちゃんねる」の掲載
- ・昨年度までの視聴覚教育研究会の指導案
- ・授業や学校・学級経営等に役立つソフト
- ・視聴覚教育関連のリンク、研究会のお知らせリンク

※ 第1号の発行が遅れましたことをお詫びいたします。ご意見ご要望は、広報担当 藤木小 後藤まで